

## 北海道支部 2018 年度支部見学会の報告

日時 2018年9月14日(金) 13:00~15:20

見学先 シンセメック株式会社 本社 (石狩市新港西2丁目788番7号)

今回見学を行ったシンセメック株式会社はマスコミからの取材をたびたび受けており、全国的にも注目されている存在です。同社が開発した「カボチャ乱切り器」は、ものづくり日本大賞優秀賞を受賞するなど独創性と技術力の高さで定評があります。

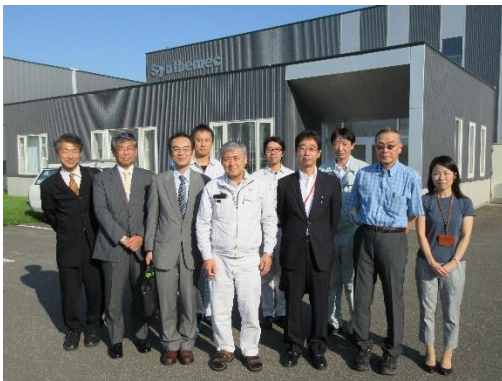
9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震の影響で当日も余震が未だに続いており、機器などの点検作業を要するような慌ただしい状況にも関わらず、快く当初の予定通りに見学を受け入れていただきました。

見学会には会長自らもご出席され、会社の理念や業務内容などをご説明いただきました。お客様の『『思い』を『形』に』をモットーに設計から製作までを一貫して全て自社で行うことが、柔軟でこれまでに存在しなかったような独自の製品を世に送り出してきた秘訣のようです。

同社では主に多品種少量生産を行っており、工場には道内でもあまり導入例がないという大型の円形5面加工機をはじめ、最新の加工機が数多く並んでいました。NC加工機の特長を生かし、手作業による加工を極力減らすなど効率化に努めていることがうかがえました。

工場見学後に会長や社員を交えて行った意見交換会を通して、困難にあえて挑戦するという製品開発に対する同社のチャレンジ精神が強く感じられました。また国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)というグローバルで高い理念に、会社として取り組む方針を宣言されているとのことでした。

本見学会に参加した当支部会員一同、シンセメック株式会社のそのような姿勢にたいへん感銘を受けつつ同社を後にしました。



(記：印南 信男)